

特別支援教育専攻

募集人員
30名

多様性を理解し、子どもの個性を見つめる。

特別支援教育専攻では、一人ひとりの子どもの特性を理解し、特別な配慮を実践できる教員を目指します。特別支援学校、あるいは小・中学校の特別支援学級の教員として、一人ひとりの子どもの特性に対応した指導・支援を工夫していける力を培っていきます。特別支援教育専攻では、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱の5領域の教員免許状を取得できます。また、その基盤として小学校の教育に関するカリキュラムを位置付けています。

4年間の学び

1、2年次には、特別支援教育の概論のほか、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱の5領域すべての障害について、指導法や心理・生理・病理学等を広く学びます。3年次からは、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由の4領域から一つの領域を選択し、学びを深めていきます。また、特別支援学校、小学校、福祉施設等の学外実習等を通して、実践力を高めます。



■ 主な授業科目

- 特別支援教育基礎論
- 各障害領域の自立活動（例：肢体不自由者の自立活動）
- 言語障害者教育総論
- 各障害領域の教育課程・指導法（例：知的障害者の教育課程・指導法）
- 各障害領域のアセスメント（例：視覚障害者のアセスメント）
- 発達障害者教育総論
- 各障害領域の心理・生理概論（例：聴覚障害者心理・生理概論）
- 初年次演習
- 重複障害者教育総論

取得できる免許

[卒業要件に含める免許状]

特別支援学校教諭一種免許状
小学校教諭一種免許状

[所定の科目履修で取得可能とする免許状]

中学校教諭二種免許状^(※)
幼稚園教諭二種免許状

※ 入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。

先輩Voice

学校教員養成課程 特別支援教育専攻4年
愛知県立名古屋聾学校出身



ボランティア活動などを通して、
障害のある子どもとの関わりを
多角的な視点で考えられます。

本専攻は、5領域すべての障害種について学べるのが大きな魅力です。障害のある子どもたちと関われるボランティア活動の機会が多くあり、多角的な視点で指導や支援について考えることができます。私は聴覚障害領域に関心があり、ろう難聴の子どもたちのキャンプの運営に携わりました。子どもたちとじかに関わり、授業で学んだことを実践しながら、深い学びを得ることができました。卒業後は、子どもたちの抱える困難や生きづらさに寄り添い、安心して学べる環境をつくっていくことが目標です。

■ 2021年1年次前期の時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	教育原論		初等生活科 教育内容A	知的障害者の 教育課程指導法	発達と学習の 心理学
2時限	英語Ⅰ	日本国憲法	初等国語科 教育内容B		特別支援教育 基礎論
3時限	初年次演習		この時間を使って 「学校体験活動入門」 の事前指導や ガイダンスを行う ことがあります。		初等社会科 教育内容A
4時限	キャリア デザインⅠ	情報教育入門		国文学史概説	初等音楽科 教育内容A
5時限	キャリア デザインⅠ				